

平成21年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年2月4日

上場会社名 アルメタックス株式会社
 コード番号 5928 URL <http://www.almetax.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月10日

上場取引所 大

(氏名) 引間龍治
 (氏名) 山本 明

TEL 06-6440-3851

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	10,590	—	414	—	447	—	261	—
20年3月期第3四半期	11,692	△0.5	532	△30.0	571	△26.2	326	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	22.63	—
20年3月期第3四半期	27.57	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第3四半期	10,245	624.35	7,179	616.17	70.1	624.35	616.17	
20年3月期	10,318	616.17	7,299	616.17	70.7	616.17	616.17	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 7,179百万円 20年3月期 7,299百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
21年3月期	—	5.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	1.6	600	4.1	620	0.7	310	0.2	26.95

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

[(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 11,912,515株 20年3月期 11,912,515株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 414,114株 20年3月期 65,216株
 ③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第3四半期 11,538,328株 20年3月期第3四半期 11,850,576株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等には様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、2ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における当社の経営成績は、新設住宅市場の低迷及び景気急落の影響を受けた結果、当第3四半期累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)の売上高につきましては、住宅建材部門で84億5千1百万円、素材部門で21億3千9百万円となり、合計で105億9千万円となりました。

利益面につきましては、第1四半期会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」を適用したことに伴い、当第3四半期会計期間末に棚卸評価損5千9百万円を売上原価に計上したこと等により、営業利益で4億1千4百万円、経常利益で4億4千7百万円、四半期純利益は2億6千1百万円となりました。

また、当第3四半期会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)の当社の営業成績は、売上高につきましては、住宅建材部門で28億9千1百万円、素材部門で6億5千4百万円となり、合計で35億4千6百万円となりました。

利益面につきましては、営業利益で1億1千1百万円、経常利益で1億2千万円、四半期純利益は6千7百万円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

資産合計は、前会計年度末に比べて0.7%減少し、102億4千5百万円となりました。

これは、主に投資有価証券及び関係会社株式の当第3四半期末における市場価額が下落したことに伴う2億7千6百万円の減少及び受取手形及び売掛金が2億3千5百万円増加したことによるものであります。

負債合計は、前会計年度末に比べて1.6%増加し、30億6千6百万円となりました。

これは、主に短期借入金の借入1億円を行ったことによるものであります。

純資産合計は、前会計年度末に比べて1.7%減少し、71億7千9百万円となりました。

これは、主に当四半期累計期間純利益2億6千1百万円の計上、前期期末配当金及び中間配当金の支払いによる繰越利益剰余金1億2千8百万円の減少、平成20年5月20日にて1株当たり266円、346,000株、総額9千2百万円の自己株式の取得及び前期末に比べ当第3四半期会計期間末のその他有価証券評価差額金が1億6千万円減少したことによるものであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは4億7千9百万円(前年同期2千6百万円)、投資活動によるキャッシュ・フローは△1億7千8百万円(前年同期△8千9百万円)、財務活動によるキャッシュ・フローは△2億6百万円(前年同期3億7千万円)となり、現金及び現金同等物は、13億6千1百万円となり、前年同期に比し9千8百万円の減少となりました。

引続き、総費用の抑制に努め収益力の強化を図る方針です。

3. 業績予想に関する定性的情報

発表した業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期会計期間末の貸倒実績率等が前会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

2. 棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価格を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期累計期間の売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前利益が59,476千円それぞれ減少しております。

3. 経過勘定項目の算定方法

合理的な算出方法による概算額で計上する方法によっております。

4. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

2. 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を当第1四半期会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,361,471	1,266,250
受取手形及び売掛金	3,302,801	3,067,226
商品	11,277	8,481
製品	224,660	336,467
原材料	700,288	740,191
仕掛品	32,729	39,333
貯蔵品	7,194	5,994
その他	298,545	184,774
貸倒引当金	△2,953	△2,672
流動資産合計	5,936,016	5,646,047
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,207,131	1,268,557
土地	1,558,607	1,558,607
その他(純額)	407,445	425,160
有形固定資産合計	3,173,184	3,252,326
無形固定資産		
投資その他の資産	18,049	21,648
投資有価証券	580,837	782,997
関係会社株式	410,707	484,616
その他	138,876	149,605
貸倒引当金	△12,538	△18,746
投資その他の資産合計	1,117,882	1,398,472
固定資産合計	4,309,116	4,672,448
資産合計	10,245,132	10,318,495
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,049,008	1,802,185
短期借入金	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	140,000	140,000
未払法人税等	61,361	108,483
賞与引当金	108,507	145,000
その他	316,119	365,024
流動負債合計	2,774,995	2,560,693
固定負債		
長期借入金	—	85,000
退職給付引当金	87,880	60,889
その他	203,171	311,914

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
固定負債合計	291,051	457,804
負債合計	3,066,047	3,018,498
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,160,418	2,160,418
資本剰余金	2,584,553	2,584,553
利益剰余金	2,628,332	2,495,720
自己株式	△104,401	△11,693
株主資本合計	7,268,903	7,228,998
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,325	157,491
土地再評価差額金	△86,493	△86,493
評価・換算差額等合計	△89,818	70,998
純資産合計	7,179,084	7,299,996
負債純資産合計	10,245,132	10,318,495

(2)【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位:千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	10,590,717
売上原価	8,897,616
売上総利益	1,693,101
販売費及び一般管理費	1,278,970
営業利益	414,130
営業外収益	
受取利息	1,284
受取配当金	29,668
仕入割引	12,725
その他	6,575
営業外収益合計	50,253
営業外費用	
支払利息	3,612
売上割引	7,347
支払手数料	5,451
その他	741
営業外費用合計	17,152
経常利益	447,232
特別利益	
貸倒引当金戻入額	6,206
投資有価証券売却益	7,748
特別利益合計	13,954
特別損失	
固定資産除却損	3,728
投資有価証券評価損	1,936
その他	176
特別損失合計	5,841
税引前四半期純利益	455,345
法人税、住民税及び事業税	173,000
法人税等調整額	21,152
法人税等合計	194,152
四半期純利益	261,193

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位:千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	455,345
減価償却費	173,194
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,926
賞与引当金の増減額(△は減少)	△36,493
退職給付引当金の増減額(△は減少)	26,990
受取利息及び受取配当金	△30,952
支払利息	3,612
有形固定資産除却損	1,649
無形固定資産除却損	2,078
投資有価証券売却損益(△は益)	△7,748
投資有価証券評価損益(△は益)	1,936
売上債権の増減額(△は増加)	△227,947
たな卸資産の増減額(△は増加)	122,133
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△19,017
仕入債務の増減額(△は減少)	150,647
未払消費税等の増減額(△は減少)	19,795
その他の流動負債の増減額(△は減少)	43,912
長期未払金の増減額(△は減少)	△1,300
その他	△4,403
小計	667,508
利息及び配当金の受取額	30,952
利息の支払額	△3,321
法人税等の支払額	△215,540
営業活動によるキャッシュ・フロー	479,599
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△193,292
無形固定資産の取得による支出	△1,899
固定資産の除却による支出	△1,216
投資有価証券の売却による収入	10,075
関係会社株式の取得による支出	△2,298
長期貸付金の回収による収入	1,890
その他の収入	8,838
その他の支出	△215
投資活動によるキャッシュ・フロー	△178,117

(単位:千円)

		当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)		100,000
長期借入金の返済による支出		△85,000
その他の支出		△432
配当金の支払額		△128,119
自己株式の取得による支出		△92,708
財務活動によるキャッシュ・フロー		△206,260
現金及び現金同等物に係る換算差額		—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		95,221
現金及び現金同等物の期首残高		1,266,250
現金及び現金同等物の四半期末残高		1,361,471

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

(単位:千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前期末残高	2,160,418	2,584,553	2,495,720	△11,693	7,228,998
当第3四半期会計期間末までの変動額					
剰余金の配当			△128,580		△128,580
四半期純利益			261,193		261,193
自己株式の取得 ※				△92,708	△92,708
当第3四半期会計期間末までの変動額合計			132,612	△92,708	39,905
当第3四半期会計期間末残高	2,160,418	2,584,553	2,628,332	△104,401	7,268,903

※ 平成20年5月20日に大阪証券取引所J-NET市場から92百万円を取得いたしました。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(要約)四半期損益計算書

(単位:千円)

科 目	前四半期累計期間 平成20年 3月期 第3四半期	
	金 額	構成比%
I. 売上高	11,692,699	100.0
II. 売上原価	9,878,616	84.5
売上総利益	1,814,083	
III. 販売費及び一般管理費	1,281,495	
営業利益	532,587	4.6
IV. 営業外収益	62,633	
V. 営業外費用	24,122	
経常利益	571,098	4.9
VI. 特別利益	3,133	
VII. 特別損失	2,401	
税引前四半期純利益	571,829	4.9
税金費用	245,028	
四半期純利益	326,800	2.8

(要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前四半期累計期間 平成20年3月期 第3四半期
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	571,829
減価償却費	154,518
売上債権の増減額(△は増加)	△579,773
仕入債務の増減額(△は減少)	381,752
その他	△149,144
小計	379,182
法人税等の支払額	△373,848
その他	21,038
営業活動によるキャッシュ・フロー	26,373
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△83,507
その他	△6,462
投資活動によるキャッシュ・フロー	△89,969
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額	100,000
長期借入金の返済による支出	△125,000
配当金の支払額	△134,000
自己株式の処分による収入	532,819
その他	△3,594
財務活動によるキャッシュ・フロー	370,224
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	—
V. 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	306,627
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	1,153,651
VII. 現金及び現金同等物の四半期末残高	1,460,278